

基本問題

- ① 資源や市場を求めてアジア・アフリカなどへの侵略をいちだんと強め、武力によって植民地を広げていく動きや考え方を何というか。
- ② 日本は、欧米諸国と結んだ不平等条約の改正を目指した。そこで、欧米の風俗や習慣を取り入れるために鹿鳴館で舞踏会などが行われた政策を何というか。
- ③ 1886年、イギリス船が和歌山県沖で沈没し、日本人乗客全員が水死した事件を何というか。
- ④ 1894年、日本はイギリスと日英通商航海条約を結んで、領事裁判権の廃止に成功した。このときの外務大臣はだれか。
- ⑤ 1911年、アメリカとの条約改正交渉で関税自主権の完全な回復が実現した。このときの外務大臣はだれか。
- ⑥ 1894年、東学（民間信仰をもとにした宗教）を信仰する団体を中心とした農民がいっせいに蜂起した。この内乱を何というか。
- ⑦ 1894年、日本と清との間に起きた戦争を何というか。
- ⑧ ⑦の戦争後、1895年に日本と清との間で結ばれた条約を何というか。
- ⑨ ⑧の条約で、清から譲り受けた遼東半島を清に返すようにロシア、ドイツ、フランスが日本に勧告（要求）してきた。この出来事を何というか。
- ⑩ ⑧の条約によって得た賠償金の一部を使って北九州に建設された官営の工場を何というか。
- ⑪ 1900年、「扶清滅洋」を唱えていたある宗教団体が中心となって人々が蜂起し、列強の公使館を包囲した。この事件を何というか。
- ⑫ 1902年、ロシアの南下政策に対抗するために日本はイギリスと同盟を結んだ。この同盟を何というか。
- ⑬ 1904年2月、朝鮮・満州をめぐる対立していた日本とロシアが戦争を始めた。この戦争を何というか。
- ⑭ ⑬の戦争に出兵した弟の身を案じて書いた「君死にたまふことなかれ」を発表した人物はだれか。
- ⑮ 1905年9月に、アメリカの仲介で⑬の戦争の講和条約が結ばれた。この条約を何というか。
- ⑯ 日本では、ロシアとの条約を結んだあと、条約の内容に不満を持った国民の一部が暴動を起こした。この暴動は何とよばれるか。

①	帝国主義	②	欧化政策	③	ノルマントン号事件	④	陸奥宗光
⑤	小村寿太郎	⑥	甲午農民戦争	⑦	日清戦争	⑧	下関条約
⑨	三国干渉	⑩	八幡製鉄所	⑪	義和団事件	⑫	日英同盟
⑬	日露戦争	⑭	与謝野晶子	⑮	ポーツマス条約	⑯	日比谷焼き打ち事件

発展問題

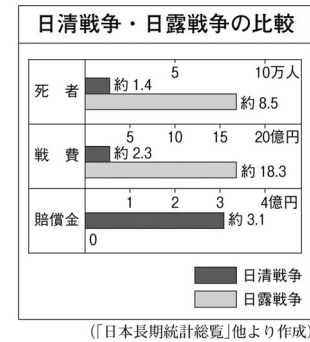
資料 1



資料 2

私は日露戦争だけでなく、戦争そのものに絶対反対である。戦争は人を殺すことである。それは大罪悪である。
 (「万朝報」一部要約)

資料 3



- ① 1869年に開通した、地中海と紅海を結ぶ全長約160kmの運河によってヨーロッパとアジアが急速に接近した。この運河を何というか、書きなさい。
- ② 帝国主義のもと、列強各国が植民地を獲得していった目的を書きなさい。
- ③ 1883年に日本の外務卿の井上馨らによる欧化政策の一環として建設され、資料1のような舞踏会などが開かれた西洋館を何というか。
- ④ ③の西洋館で資料1のような舞踏会を開くなどした欧化政策を行った目的を書きなさい。
- ⑤ 1886年、イギリス船が和歌山県沖で沈没し、日本人乗客全員が水死するというノルマントン号事件がおきた。この事件では、イギリス人船長には軽い罰が与えられただけであった。このような結果になった理由を、不平等条約の内容にふれて書きなさい。
- ⑥ 日清戦争後に結んだ下関条約の内容について適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。
 ア：賠償金として2億両を清が日本に支払う。 イ：日本は清に朝鮮の独立を認めさせた。
 ウ：樺太と千島列島を交換した。 エ：遼東半島、台湾、澎湖諸島を日本に譲り渡した。
- ⑦ 下関条約で清から譲り受けた遼東半島を、清に返すように干渉してきた3か国をすべて書きなさい。
- ⑧ 1900年に、伊藤博文を総裁とする政党が結成され、政権を担う中心の存在となっていった。この政党は何とよばれるか、書きなさい。
- ⑨ 1902年に日本はイギリスと日英同盟を結んだ。なぜ日英同盟が結ばれることになったのか、その目的を「ロシア」という語を使って書きなさい。
- ⑩ 日露戦争の開戦に反対した社会学者で、のちの1910年に大逆事件で処刑された人物はだれか。
- ⑪ 日露戦争の開戦に反対し、資料2を発表したキリスト教徒はだれか。
- ⑫ 日露戦争後、日本とロシアはどこで講和会議を行い、条約を結んだのか、国名を書きなさい。
- ⑬ 日露戦争後に結ばれたポーツマス条約の内容に国民が不満を持った理由を、資料3から読み取って書きなさい。

①	スエズ運河	②	(例) 資源を得たり、製品を売るための市場を確保するため。		
③	鹿鳴館	④	(例) (日本が文明国であることを示し、) 不平等条約の改正につなげるため。		
⑤	(例) 領事裁判権を認めていたので、日本の法律で裁けなかったから。			⑥	ウ
⑦	ロシア	ドイツ	フランス	⑧	立憲政友会
⑨	(例) ロシアの南下政策に対抗するため。				
⑩	幸徳秋水	⑪	内村鑑三	⑫	アメリカ (合衆国)
⑬	日露戦争は、日清戦争よりも多くの戦費がかかり、たくさんの戦死者がでたのに、賠償金を得られなかったから。				